

各 位

会社名： ポラリス・ホールディングス株式会社  
 代表者名： 代表取締役社長 田口 洋平  
 (コード番号:3010 東証スタンダード市場)  
 問合せ先： 取締役 兼 最高財務責任者 細野 敏  
 (TEL:03-5822-3010)

### ホテル運営状況に関するお知らせ(2025年5月度)

当社グループが運営するホテル(海外ホテル除く)の2025年5月度におけるホテル運営状況につき、宿泊部門の客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率を下記のとおりお知らせいたします。なお、過去の運営実績については当社ホームページ([https://www.polaris-holdings.com/ir\\_performance/](https://www.polaris-holdings.com/ir_performance/))をご参照ください。

#### 記

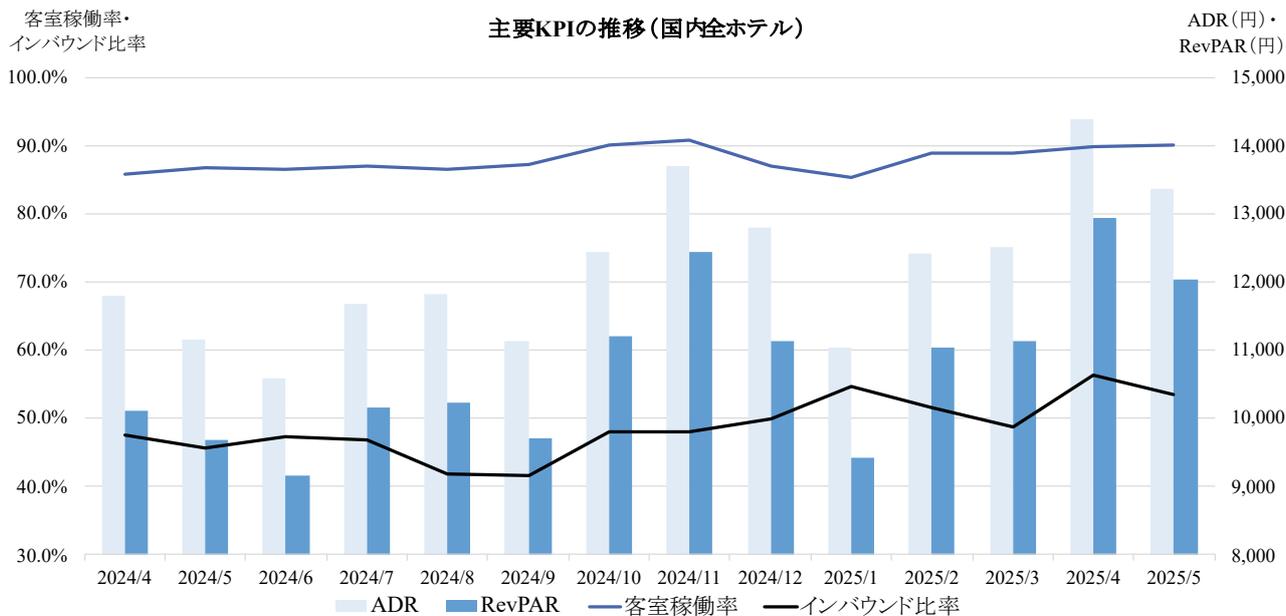
#### 1. 国内全ホテル

全 66 ホテル	当月	前年同月	増減数	増減率	当期累計	前期累計	増減数	増減率
	2025年5月	2024年5月			自 2025年4月 至 2025年5月	自 2024年4月 至 2024年5月		
客室稼働率	90.2%	86.8%	+3.4%		90.1%	86.3%	+3.8%	
ADR(円)	13,358	11,166	+2,191	+19.6%	13,864	11,471	+2,393	+20.9%
RevPAR(円)	12,042	9,691	+2,351	+24.3%	12,486	9,898	+2,588	+26.1%
インバウンド比率	53.5%	45.7%	+7.9%		54.9%	46.6%	+8.4%	

#### 2. 運営状況の概要

日本政府観光局公表の訪日外客統計資料によると、2025年5月の訪日外客数は3,693,300人であり、前年同月比21.5%増となり、5月としては過去最高の記録となりました。

このような状況の中、当社グループが運営する国内全ホテルのRevPARは前年同月比で24.3%増加いたしました。ゴールデンウィークの需要が好調に推移したことに加え、引き続き旺盛なインバウンド需要が継続し、全エリアにおいてインバウンド比率は前年同月比で上昇し、RevPARが増加いたしました。特に近畿エリアでは「EXPO 2025 大阪・関西万博」開催による宿泊需要を捉えたこともあり、RevPARは前年同月比で49.4%の増加を実現しております。



### 3. 国内ホテル エリア別

	当月 2025年5月	前年同月 2024年5月	増減数	増減率	当期累計 自 2025年4月 至 2025年5月	前期累計 自 2024年4月 至 2024年5月	増減数	増減率
<b>北海道 (7 ホテル)</b>								
客室稼働率	87.7%	82.0%	+5.7%		85.4%	78.0%	+7.4%	
ADR(円)	9,806	7,360	+2,446	+33.2%	8,456	6,749	+1,708	+25.3%
RevPAR(円)	8,598	6,033	+2,564	+42.5%	7,218	5,261	+1,957	+37.2%
インバウンド比率	25.6%	21.5%	+4.1%		26.3%	22.8%	+3.5%	
<b>東北・北陸信越 (6 ホテル)</b>								
客室稼働率	90.0%	86.0%	+3.9%		89.9%	87.4%	+2.5%	
ADR(円)	9,444	9,226	+218	+2.4%	9,578	9,350	+228	+2.4%
RevPAR(円)	8,495	7,935	+560	+7.1%	8,610	8,174	+436	+5.3%
インバウンド比率	30.2%	23.9%	+6.2%		33.6%	25.9%	+7.6%	
<b>関東 (18 ホテル)</b>								
客室稼働率	95.1%	94.9%	+0.3%		96.0%	95.1%	+0.9%	
ADR(円)	19,133	16,516	+2,617	+15.8%	21,481	17,657	+3,824	+21.7%
RevPAR(円)	18,203	15,667	+2,535	+16.2%	20,619	16,794	+3,825	+22.8%
インバウンド比率	76.1%	66.1%	+10.0%		76.0%	66.2%	+9.8%	
<b>中部 (6 ホテル)</b>								
客室稼働率	86.4%	80.0%	+6.4%		87.7%	80.1%	+7.7%	
ADR(円)	10,418	8,360	+2,058	+24.6%	10,798	8,655	+2,143	+24.8%
RevPAR(円)	9,002	6,688	+2,314	+34.6%	9,471	6,929	+2,542	+36.7%
インバウンド比率	54.6%	36.8%	+17.8%		56.3%	36.6%	+19.7%	
<b>近畿 (15 ホテル)</b>								
客室稼働率	91.3%	86.8%	+4.5%		91.7%	86.4%	+5.3%	
ADR(円)	14,185	9,994	+4,191	+41.9%	14,602	10,605	+3,997	+37.7%
RevPAR(円)	12,955	8,674	+4,281	+49.4%	13,389	9,162	+4,227	+46.1%
インバウンド比率	59.4%	54.8%	+4.6%		61.9%	56.5%	+5.5%	
<b>中国・四国・九州 (14 ホテル)</b>								
客室稼働率	87.5%	85.0%	+2.5%		86.7%	84.5%	+2.2%	
ADR(円)	11,630	10,405	+1,226	+11.8%	11,376	10,000	+1,376	+13.8%
RevPAR(円)	10,179	8,842	+1,337	+15.1%	9,867	8,452	+1,415	+16.7%
インバウンド比率	44.1%	36.3%	+7.8%		45.0%	37.2%	+7.8%	

- (注1) 2024年4月時点において運営を開始しており、かつ2025年5月時点で運営を継続しているホテルを集計対象としており、前年度の各数値は、2025年3月期より連結対象となった株式会社ミナシアが運営していたホテルの数値を含みます。また、東日本大震災からの復興支援を目的とした社会貢献ホテルの「バリュー・ザ・ホテル」ブランドの4ホテルは集計対象外としております。
- (注2) 客室稼働率:対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
- (注3) ADR:平均客室販売単価(Average Daily Rate)をい、一定期間の宿泊部門売上高合計(サービス料を含みます。)を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注4) RevPAR:販売可能客室数当たり宿泊部門売上(Revenue Per Available Room)をい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。
- (注5) インバウンド比率:一定期間の宿泊者総数に占める外国人宿泊者数の比率をいいます。
- (注6) 客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率については集計対象ホテルの加重平均値です。
- (注7) 客室稼働率およびインバウンド比率については小数点以下第二位を、ADR及びRevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。
- (注8) 各エリア名の括弧内に当該エリアに含まれる集計対象ホテル数を記載しています。
- (注9) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経していないため、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではなく、今後修正される可能性がありますのでご注意ください。

(ご参考)

スポンサーであるスターアジアグループに属するスターアジア不動産投資法人が保有し、当社グループが運営するホテルについては、スターアジア不動産投資法人のホームページにおいて、当該ホテルの月次の運営状況が掲載されておりますので当該ウェブサイトご参照ください。

スターアジア不動産投資法人ホームページ

<https://starasia-reit.com/ja/ir/index.html>

以上